

知恵 貸します

森野 水琴

この眼鏡は不思議な眼鏡です。

疑問を感じただけで答えてくれます。

貸し出し希望の方は、ご連絡ください。

販売員がご自宅にお邪魔して説明します。

好きなコースをお選びください。

このようなチラシがポストに投函されていたので電話してみた。オペレータに住所を知らせて、販売員に来てもらうことにした。知的な印象の女性販売員から説明を受けた。

眼鏡の形をした装置は脳で発生した疑問を発信し、その答えを受信し脳に伝える。

コースによって貸出料の月額が変わるが一万円のプレミアム・コースにした。半年に一回、眼鏡の点検に来ると言って、販売員は帰っていった。

さっそく眼鏡を着用してみた。慣れないうちは疲れるので、一時間経過するたびに休憩するようにとのこと。疑問に答えてくれるスピードは満足のいくものだった。

寝ている間は装着しないようにとのことだったので、普段通りに裸眼で寝た。

熟睡した翌朝はさわやかな目覚めだった。

眼鏡を着用しながら、定期的に販売員の女性と会う方法はないかと考えると、眼鏡のモニター募集のメールを送ったとの答えを受信した。

パソコンで確認すると、モニター募集の説明会の案内メールだった。再会したい販売員が説明会を担当する日程が示されている。最短で本日の十時。出席できると思っただけで、予約うけたまわりましたとの答えを受信した。

眼鏡を着用したまま移動すると、販売員の会社までナビゲートしてくれるので便利だった。

販売員の女性と再会すると、個別説明してくれた。今着用している眼鏡のモニターになって、定期的に会社で販売員と面談し眼鏡の使い心地を報告するということだった。

週一回、二週間に一回、月一回から選ぶようにとのこと。週一回だと思っただけで、「週一回ですね」と販売員は笑顔で答える。眼鏡を着用しているのだから

ら、こちらの考えは筒抜けなのは仕方ないのだが、答えが肉声であったのが嬉しかった。さらに嬉しいことには、週一回通うと貸出料が無料になる。
来週から火曜日の十時に通うことにした。

その夜も裸眼で寝た。眼鏡を装着したままだと深層心理まで筒抜けになりそうだったからである。事実、眼鏡を装着している間の脳の反応はビッグデータとして販売会社に保存される。

彼女は眼鏡ではなく、眼内レンズを施されているとのことで、面談中の内容も眼内レンズを通して録画されているとのことであった。

こちらの気持ちも筒抜けでも、彼女の心を盗めないか。来週の面談までに秘策を練るのが裸眼で寝る理由である。

いろいろ夢に見るのであるが、朝になると忘れてしまっている。はかない夢であった。

火曜日の十時に彼女と面談した。「眼鏡を拝見しますので手渡してください」と彼女が言うので、眼鏡を外して手渡そうとすると、彼女が目を開じている。これは無言の合図だと承知して、彼女の唇を盗んだ。ほんの一瞬、互いの鼓動だけが高鳴る時間の事であった。

彼女は眼を開け、少し上気した顔で眼鏡を点検している。失礼なことをしてしまったと思ったら、彼女は微笑みを返してくれた。

やはり私の下心は彼女に読まれていた。承知のうえで眼を閉じてくれたのが嬉しかった。

会社のほうでも、知識に関する開発は得意だが、こうした恋愛感情の分野になるとデータ不足で、これからも継続して面談したいとのことである。

こうなったら公然と彼女の心を盗んでみたいものだと思った。ますます微笑む彼女に見送られて会社を後にした。

その夜は眼鏡を装着したまま寝た。彼女に深層心理を伝えるためである。同じ夢を見ることを期待してのことである。朝になっても思い出してくれるはずである。

翌朝になって、昨夜の夢は何だったのだろうと考えると、すぐに彼女から答えが来た。まんまと彼女の心を盗んだようである。彼女も同じ夢を見たのだろうかと考えたら、そうだという答えが返ってきた。

来週の火曜日まで待ちきれないと思ったら、平日の十時に面談可能とのこと。

今日の十時に彼女と面談することになった。

彼女に会って「昨夜は、どうも・・・」と言うと、上気した顔で微笑んでくれた。会社にビッグデータが蓄積されていく。望むところである。

眼内レンズとレンタル眼鏡の会話は、人間に限らずロボットとも可能である。ロボットの眼に相当する部分に使われているレンズは、この会社の製品である。ビッグデータがこの会社に蓄積されていくことを、ロボットの開発スタッフは知らない。

私たちの恋愛感情が眼内レンズやレンタル眼鏡を装着している人やロボットに共有されていく。

これ以来、毎晩、眼鏡を装着したまま寝るようになった。翌日が平日であれば十時に彼女と面談しに行く。土日祝日の場合は十時に彼女が訪問してくれる。

夜見た夢の内容を彼女は上気しながら話す。そして昼食をともにするのが日課になった。

一か月が過ぎたある日、女性の魅力を引き出すには、どうすればいいのだろうかと考えた。

「暖かいまなざしで見守ってあげることです」と回答が来た。

平日なので十時に彼女との面談に行った。

夜見た夢の内容を彼女から聞きながら、暖かいまなざしで見守った。

前から魅力的な彼女の笑顔が、ますます魅力的になる。

「早速効いたようだ」と眼でささやくと、彼女は笑顔でささやき返す。

毎日ささやけるかと思うと私たちは笑顔になった。

レンタル眼鏡を装着していればロボットと眼で会話できるのだが、最近ではAIソフトを搭載したパソコンの画面でAIと会話できるらしい。

こちらの考えている事がレンタル眼鏡から発信されて、AIからの回答が画面に表示される。AIからの質問には答えを思い浮かべるだけでいい。

彼女と毎日ささやいて、ビッグデータが会社に蓄積されて、ロボットやAIに反映していく。

会社からの奨励もあり、ますます私たちの愛は深まっていく。

彼女は会社に勧められて、最近ボイストレーニングを受け始めた。

レンタル会社に出資している会社は、朗読を聞かせる店との共同研究で、朗読者の声と聞いた人の脳波に関するビッグデータを蓄積しているという。

ボイストレーニングの成果は、毎日の面談で夢の話を彼女が話す声に現れた。ゆらぎと間合いが鍵らしい。

会社も面談の様子を記録することにより新たな開発の糸口を見つけられそうだという期待に満ちあふれている。